

EU Indicators

発表日: 2019年9月24日(火)

欧州経済指標コメント: 9月ドイツIfo企業景況感

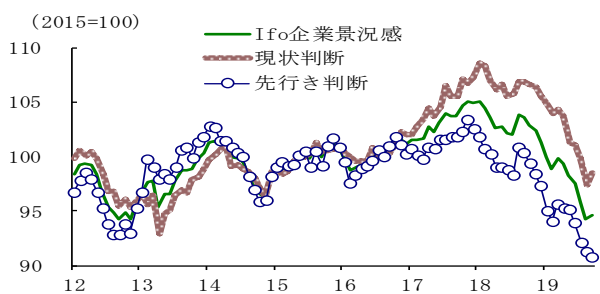
～ヘッドラインよりも先行き判断に注目～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

- 9月のドイツIfo企業景況感(2015年=100の指数)は6ヶ月振りに改善したが、過去半年の急激な落ち込みを考えると前月差+0.3ポイントの反発は限定的。それでも前日発表のドイツPMIの全面的な落ち込みからすると、意外な反発と言える。ちなみに、IfoとPMIの前月からの変化の符号条件が一致するのは約6割。Ifoの先行き判断と製造業PMIだと約6割5分。
- 前月からの改善は現状判断が主導、前月差+1.1ポイントと6ヶ月振りに上昇。先行き判断は同▲0.5ポイント悪化し、こちらは6ヶ月連続の落ち込み。景気と連動性の高い先行き判断が一段と落ち込んでいる点はPMIの動きと一致するが、PMIに比べて悪化幅はやはり限定的。
- 業種別の現状の業況判断(ゼロが分岐点)は、製造業(8月: +5.6→9月: +4.7)、卸売業(+10.4→+8.5)、小売業(+22.6→+21.9)、建設業(+45.5→+45.0)が前月から悪化した一方、サービス業(+31.0→+36.9)が大幅に反発し、改善を主導した。先行きの業況判断は、小売業(▲13.0→▲15.8)が前月対比での落ち込みを主導し、製造業(▲17.1→▲17.0)、サービス業(▲3.5→▲2.0)、卸売業(▲22.3→▲21.4)、建設業(▲0.2→+1.5)は改善した。
- ビジネス向けサービスが中心のPMIと比べて、Ifoのサービス業は調査対象企業が多く、家計を取り巻く環境の底堅さを反映している可能性がある。他方、製造業の先行き判断が小幅ながら改善した点はPMIと大きく食い違う。Ifoの先行き判断が示唆する通り、景気の先行き悪化懸念が広がっているが、PMIが示唆する程のものではない可能性がある。

■ドイツ: Ifo企業景況感



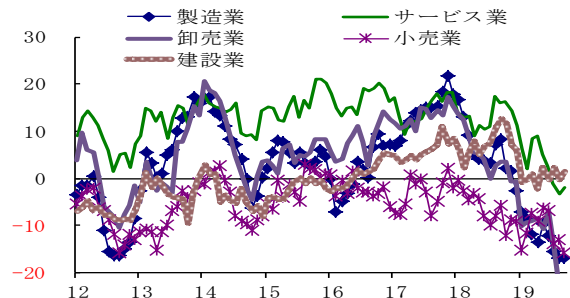
出所: Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2018				2019				2018				2019			
	4Q	1Q	2Q	3Q	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
企業景況感(総合)	102.2	99.5	98.4	94.9	102.4	101.3	99.9	98.9	99.8	99.4	98.2	97.5	95.8	94.3	94.6	
現状指数	106.2	104.4	102.0	98.6	106.4	105.6	104.9	104.0	104.3	103.7	101.3	101.1	99.8	97.4	98.5	
先行き指数	98.4	94.9	94.8	91.4	98.5	97.3	95.1	94.1	95.6	95.3	95.2	94.0	92.1	91.3	90.8	
業況判断	23.5	17.6	15.0	7.5	23.9	21.6	18.4	16.2	18.3	17.3	14.7	13.1	9.5	6.2	6.7	
製造業	17.2	9.5	3.3	-5.6	17.9	15.0	11.6	9.6	7.4	4.1	4.4	1.3	-4.3	-6.0	-6.4	
サービス業	30.7	24.8	23.0	16.0	31.9	27.9	25.6	22.1	26.6	27.4	21.2	20.3	18.3	13.0	16.6	
卸売業	14.8	8.5	7.1	-4.6	14.1	14.3	9.1	7.0	9.5	9.6	4.4	7.2	-0.3	-6.6	-7.0	
小売業	1.9	2.4	6.4	3.7	2.7	2.0	-1.1	1.1	7.1	3.4	6.9	9.0	4.9	4.0	2.2	
建設業	29.9	20.1	23.0	22.3	28.9	28.7	20.1	18.4	21.7	21.7	24.8	22.5	23.1	21.5	22.2	

出所: Ifo

■ドイツ: 業種別の先行きの業況判断



出所: Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

